

2015年6月10日
株式会社日立メディコ
取締役社長 山本 章雄

永久磁石オープンMRI装置「AIRIS Light」^{エアリス ライト}発売

先進技術を搭載したオープン&コンパクト



[装置外観]

株式会社日立メディコ(本社所在地:東京都千代田区、取締役社長: 山本 章雄、資本金 138 億 8 千 4 百万円)は、磁場強度 0.25 テスラの永久磁石オープン MRI 装置「AIRIS Light」(エアリスライト)を発売いたします。

1. システムの概要

永久磁石オープンMRI装置「AIRIS」(1995年発売)以降、「AIRIS」シリーズは、高い撮影技術と高画質により、国内外の医療機関で評価をいただいています。

「AIRIS Light」は、横配置テーブルに基づく高い操作性、ミニマムデザインに基づく高い設置性という従来機「AIRIS Mate」「AIRIS Vento LT」の特長はそのままに、検査・診断の幅を広げる各種撮影技術を備えた最新システムを搭載した新型モデルです。

2. 主な特長

(1) セッティング時の高い操作性

MRI 装置で最も高画質撮影が可能な磁場中心で、肩や膝など体軸中心から外れた部位を撮影するには、被検者のセッティングが重要です。AIRIS Light は、多くの MRI 装置と異なり横配置テーブルを採用し、また、ガントリー内部でテーブルを前後左右に移動できるフローティング機構を採用することで、被検者の体軸中心から外れた部位を撮影するためのセッティングを可能にします。

オープン MRI 装置は、狭いところが苦手な方や小児など被検者に安心感を与える広い検査空間を提供します。加えて、AIRIS Light は、横配置テーブルにより、被検者を磁場中心にセッティングする移動距離が短く、また、被検者とコミュニケーションをとりながらセッティングすることが可能です。

(2)ミニマムデザインによる高い設置性

永久磁石 MRI 装置は、超電導装置に比べ、漏洩磁場範囲が小さく、また常時冷却する設備などが不要なため小さな面積での設置が可能です。

AIRIS Light は、当社 MRI 装置ラインアップの中で最も小型の装置で、標準検査室サイズは約 20 m²です。そのため、検査室の拡張が難しい場合や付帯設備費用を抑えたい場合の更新時に、選択肢の一つとしてご検討いただけます。



[検査室レイアウト例]

(3)高画質技術と最新システム

AIRIS Light は、高速撮影を実現する強力な電源ユニットやノイズの少ない画像を実現する高感度受信コイルなど、多くの高画質技術を搭載しています。

また、最新の画像再構成システムを搭載し、従来機と比較して約 30 倍の再構成演算速度を実現することで、3D 画像などの再構成演算も早くなり、検査時間の短縮化に貢献します。

さらに、操作卓には、当社超電導 MRI 装置と共通のシステムを採用し、直感的に操作可能なユーザーインターフェースなどシンプルな操作性を実現しました。

(4)高機能アプリケーション

一般的に数分間を要する MRI の撮影では、被検者の動きに起因する画像のひずみを低減することが重要です。AIRIS Light は、超電導 MRI 装置で開発し、また、従来機にはなかった Radial scan 技術「RADAR」を搭載しました。

また、磁場の均一性を維持する高度な補正機能や、多くの非造影血管撮影機能など診断・治療に有用な撮影機能を搭載しています。

3. 販 売 名 称 : 日立 MR イメージング装置 AIRIS Light
(医療機器認証番号 : 第 227ABBZX00052000 号)

4. 定価(標準構成) : 5 億円 (システム構成により価格は異なります)

「AIRIS」「エアリス」「AIRIS Vento」は株式会社日立メディコの登録商標です。

■お客様お問い合わせ先

株式会社日立メディコ 国内 MR・CT 営業部【八杉】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階

電話 03-3526-8306

■報道機関お問い合わせ先

株式会社日立メディコ 法務・コンプライアンス部(広報担当)【齋藤】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階

電話 03-3526-8809

以上